



保護者のみなさまへ

小野市立小野南中学校長 駒田 茂

令和6年度学校評価結果について

向春の候、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校教育にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

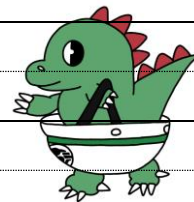
さて、本校の教育活動について評価していただいた内容をまとめさせていただきましたので、ご報告させていただきます。この結果を踏まえ、次年度の実践に生かしたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

- アンケートの26項目を「学校生活」「確かな学力」「豊かな心」「たくましい身体」「家庭学習の充実」「教育環境の整備」という6つの観点にまとめています。

評価結果は、(A：思う B：少し思う)の合計ポイントを昨年度と比較しております。

【学校生活】

	評価者	評価内容	R6	R5
1	生徒	楽しく学校生活を送っている。	97%	94%
	保護者	楽しく学校生活を送っている。	94%	96%
2	生徒	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	97%	95%
	保護者	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	98%	97%
3	生徒	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	90%	87%
	保護者	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	89%	77%
4	生徒	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	98%	97%
	保護者	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	95%	95%
5	生徒	交通ルールを守って登下校している。	97%	99%
	保護者	交通ルールを守って登下校している。	98%	99%
6	生徒	生徒会活動(専門部活動)に意欲的に取り組んでいる。	90%	93%
	保護者	生徒会活動(専門部活動)に意欲的に取り組んでいる。	87%	96%



多くの生徒が、楽しく学校生活が送れていると答えており、学校行事にも熱心に取り組んでいます。そうではない数パーセントの生徒にしっかりと目を向け、誰一人取り残さない学校づくりに努めます。

一方、「あいさつ」と「交通ルール」に関しては、A Bの合計ポイントは昨年と変わりませんが、(A思う)と回答した割合が生徒・保護者・教員ともに低下していることが懸念されます。学校としては、重点課題として取り組んでまいりますので、地域でも見守りをお願いします。

情報発信については、引き続きホームページ等を活用し、リアルタイムの情報発信に努めます。

【確かな学力】

	評価者	評価内容	R6	R5
7	生徒	授業は分かりやすい。	90%	95%
	保護者	分かりやすい授業がなされている。	90%	95%
8	生徒	自分は授業に集中して取り組んでいる。	91%	92%
	保護者	お子さんは、授業に集中して取り組んでいる。	86%	90%
9	生徒	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、授業は楽しい。	91%	89%
	保護者	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、楽しい授業がなされている。	88%	92%
10	生徒	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	77%	79%
	保護者	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	71%	74%

授業に「集中して取り組む」とことと「授業が分かる」ことは相関関係にありますので、生徒同士の学び合いを重視することで生徒の集中力を高め、基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。

また、おの検定の趣旨を理解できていない生徒が一定数いることから、今一度「家庭で毎日短時間でも繰り返し計算や漢字を勉強することで脳が活性化すること」を再確認するとともに、引き続き不合格者の再チャレンジテストを定期的に行い、基礎学力の定着を目指します。

【豊かな心】

	評価者	評価内容	R6	R5
11	生徒	道徳科の授業では、自分の思いや考えを発言している。	81%	80%
	保護者	豊かな心を育む道徳教育がなされている。	94%	91%
12	生徒	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	98%	98%
	保護者	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	98%	99%
13	生徒	相手を大切にする思いやりの心が育ってきたと思う。	96%	97%
	保護者	相手を大切にする思いやりの心が育っている。	98%	98%
14	生徒	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	97%	95%
	保護者	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	94%	94%



道徳の授業で、自分の思いや考えを発言できる生徒が増えてきています。今後も、道徳の授業を「子どもたちが自分自身の生き方をじっくり考えることができる時間」とし、子どもたちの道徳的実践力を育成していきます。

そして、人権旬間中だけではなく、教育活動全般を通して生徒の思いやりの心を育て、「いじめを絶対に許さない」温かな人間関係の構築に努めていきます。

【たくましい身体】

	評価者	評価内容	R6	R5
15	生徒	部活動に熱心に取り組んでいる。	95%	93%
	保護者	部活動に熱心に取り組んでいる。	96%	97%
16	生徒	部活動の活動内容や活動時間は適当である。	92%	90%
	保護者	お子さんの部活動の活動内容や活動時間は適当である。	85%	92%
17	生徒	朝ごはんを毎日食べている。	95%	94%
	保護者	朝ごはんを毎日食べている。	95%	95%



多くの生徒が部活動に熱心に取り組み、目標を持って毎日練習に励んでいます。今後、部活動の地域移行に伴い、活動の在り方が変化する可能性があります、限られた時間の中で質の高い活動ができるよう取り組んでいきます。

脳を活性化するために必要なバランスの良い朝食の摂取については、ご家庭の協力が不可欠となりますので、ご協力をお願いします。

【家庭学習の充実】

	評価者	評価内容	R6	R5
18	生徒	SNS やインターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	79%	80%
	保護者	SNS やインターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	61%	63%
19	生徒	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	79%	80%
	保護者	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	74%	80%
20	生徒	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	70%	64%
	保護者	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	59%	62%
21	生徒	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	64%	70%
	保護者	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	52%	55%
22	生徒	学習の手引きを活用して学習に取り組んでいる。	67%	57%
	保護者	学習の手引きを活用して学習に取り組んでいる。	48%	55%

家庭での学習や過ごし方については、他の項目に比べ低い数値を示しています。学校では、川島隆太教授の脳科学理論（前頭前野を鍛え、自分の夢に一步步近づいていこう）に基づき、「早寝・早起き・バランスの良い朝ごはん」「読書」「スマホ使用は1時間以内」を推奨しておりますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

スマホ・ゲーム依存が、生徒の家庭学習時間を奪い、脳の発達や学習に悪影響を及ぼすことは様々な研究結果から立証されています。引き続き、様々な角度から子どもたちにアプローチし、自分の意志で自分の生活習慣を確立することができる、自己管理能力の高い生徒の育成に全力で取り組んでいきます。

【教育環境の整備】

	評価者	評価内容	R6	R5
23	生徒	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	97%	95%
	保護者	環境整備や清掃は行き届いている。	99%	98%
24	生徒	先生は相談によく乗ってくれる。	94%	93%
	保護者	先生は生徒の相談によく乗ってくれる。	92%	85%
25	生徒	夢や希望・目標をもって、それに向かって努力している。	83%	81%
	保護者	家庭で夢・希望・目標に向かって頑張ることの大切さについて話し合っている。	87%	82%
26	生徒	小学生(6年生)とのふれあい行事は、大切だと思いますか。	94%	89%
	保護者	小野南中学校区の小中一貫教育は、9カ年のカリキュラムを見通した教育となっている。	82%	84%



生徒は、約3年前に新しくなった校舎への感謝の気持ちを大切にしながら、勤労の喜びや成就感を体験することで奉仕の精神を学んでいます。

また、教員は生徒が発するSOSのサインを見逃すことがないように、日々の観察に加え、定期的な教育相談や生活アンケートを実施しながら、迅速な対応に努めています。引き続き、「困ったことがあっても先生がいつでも相談に乗ってくれる安心な学校」を目指して、常に受容的かつ共感的に傾聴する姿勢を大切にしていきます。

令和6年度の総括の時期になりましたが、保護者、地域のみなさまのご支援とご協力により、本年度の教育活動が無事終了できますことに心より感謝申し上げます。

保護者のみなさまにおかれましては、学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。概ね良好な評価をいただいておりますが、一部の保護者の方が不安を感じておられたり、お子様のことで困り感を持たれていることがわかりました。今後も学校と家庭が連携することで、保護者のみなさまの不安や困り感の解消に努めてまいりたいと思います。

本校の課題は、アンケート結果からもわかるように、スマホ・ゲームの長時間使用による家庭学習の減少や生活習慣の乱れです。これは全国的な課題でもあります。小野市が取り組んできた脳科学理論に基づく「早寝・早起き・バランスの良い朝ごはん」「読書」「スマホ使用は1時間以内」を目指して取り組んでまいりますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

職員一同、かけがえのないお子様をお預かりし、ひとり一人の大きな成長を願って努力を重ねてまいりましたが、至らぬ点多々あったかと思います。次年度は本校教育活動の更なる充実に向けて、今年度の課題を改善し、さらにより良い教育活動の創造に全職員で努めてまいりたいと思います。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

小野市立小野南中学校長 駒田 茂